



福祉よこはま

社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会



「福祉よこはま」は、横浜市が編集に協力しています

特集

新たなつながりで まちに広がる支えあい



中高生の活動拠点ハッピースクエアを運営する
NPO法人リロードの遠藤さんと山本さんと、配分会
を手伝っている高校生(左)
(1月22日撮影:ハッピースクエア)
→詳しくは特集で

もくじ

★ 福祉の仕事: まちの相談役 民生委員・児童委員 P4

★ ボラセン情報: 「学び」を活かしたボランティア活動
～ たくさんのお子どもたちを笑顔に～ P5

★ 市社協情報: よこはま地域福祉フォーラム実施報告
音声訳ボランティア入門講座 P6

ここから最新号と
バックナンバーを
ご覧になれます

福祉よこはま 検索



新たなつながりで まちに広がる支えあい

多くの人に知ってもらおう『きっかけ』に

保土ヶ谷区社協ではセブン-イレブン・ジャパンから地域のためにと頂いた寄付品の一部を福祉施設へお渡ししています。その管理や仕分けの作業を社会参加を目指す方の支援や中高生の地域活動拠点ハッピースクエアを運営しているNPO法人リロードと一緒にすることで、この拠点をより多くの人に知ってもらおうきっかけとなり、新たなつながりづくりになるのではと取組を始めました。

つながりづくりこそが私たちの仕事であり役割だと思っています。実際には思ってもみない効果など新たに気づかされることが多くあります。



▲保土ヶ谷区社協の山本篤さん、安達志帆さん

子どもたちが地域や施設とよりつながるきっかけを作ったり、社会参加を目指す若者が参加できる機会を作ることで、自分の居場所と思える場をたくさん作っていけるといいなと思います。

地域
(保土ヶ谷区社協)



新たなつながりや役割をつくる

リロードでは中高生の地域活動拠点「ハッピースクエア」を会場に寄付品の配分会を行うことで、知り合うことの少ない福祉施設との新たなつながりや出会い、拠点に集まる中高生の出番や役割をつくる『機会』になると、保土ヶ谷区社協とともに取り組んできました。以前は社会参加を目指す若者も仕分けや管理を手伝って来ていました。

毎回、届く個数も内容も変わる寄付品の段ボールから商品をすべて取り出し、配分会に来た福祉施設の人が取りやすいよう、子どもたち自身が仕分けの

方法を考えながら手際よく行っていきます。自発的に工夫できる場所を探し、より良くしていこうとそれぞれが力を発揮しています。

配分会当日も、その日の人数、品数にあわせた配列を考え、空いた段ボールの片づけや、商品が探しやすいよう声かけをしたり、子どもたちは臨機応変に動きます。

この配分会をきっかけに子どもたちの中にも新たなつながりや関係性が生まれています。

中高生の
地域活動拠点

ハッピー



生活に関わる
たくさんの
寄付品

地域のために

セブン-イレブン・ジャパンから「地域のために商品を活用してほしい」と店舗移転や改装時等に発生する商品(加工食品・日用品)を横浜市社協へ寄付いただいたものを、保土ヶ谷区社協では生活にお困りの方や福祉施設などを通して必要とする方に届ける取組を行っています。

つながる機会の少ない企業と福祉施設がハッピースクエアでの配分会をきっかけに新たにつながることで、地域の中で支えあいが広がっています。

かける
企業

地域には様々な活動の拠点があり、居場所としての役割も果たしています。その対象・役割を少し広げることで、新たなつながりが生まれ、支えあいの輪が大きくなる可能性があります。企業からの寄付をきっかけに生まれた、まちに広がる新たなつながりと支えあいをご紹介します。

参加した 学生さんの声

やりがい
・
役割
+
プラス

寄付品を取りに来る方の様子を見て、取りやすさや見やすさを考えながら仕分けを行い並べていきます。**自分がどうしたいかより相手がどう思うか、を考えるようになりました。**

福祉施設の人のためになっていることがうれしいので、選びやすいように商品名や絵をかくなど、自分の得意なことを活かしながらよりよくなるため工夫を重ねています。

学校でもボランティアの募集はあります。誰でもどうぞといわれると参加しづらいけど、自分たちの地元で知っている人から声をかけてもらうことで、ボランティアのハードルが下がり参加しやすくなります。



配分会での協力をきっかけにボランティアのハードルが下がり、**地域で行われるボランティアにも積極的に参加する子どもたちが増えてきました。**配分会は中高生が、寄付品を介して福祉施設の方と言葉を交わし、施設の方の立場に立って考える機会となっています。この時間や人との関わりこそが**子どもたちが役割を發揮できる機会となり、さらに能力や可能性を広げていると感じています。**

居場所とは場所そのものではなく、**失敗したときなどに話せる人がいることや安心して失敗できること、心のよりどころがあることだ**と思います。安心して体験できる環境や機会があることが大事だと思います。子どもたちの力を信じて任せるだけで、大人の想像を軽く超えた力を發揮していきます。



▲リロード職員の遠藤潤一郎さん、山本彩乃さん

地域とのつながりを大事に

障害者施設偕恵いわまワークスは、配分会で施設を利用される方が使う下着類や生活用品、事務用品を中心にいただいています。

配分会当日は中高生が受付や仕分けした寄付品の紹介、コンテナを車に載せるなど、自ら声をかけ手伝いをしてくれ、とても頼りになる存在です。私たちの施設では**地域とのつながりを大事にしている**ため、配分会を通じて知りあえた学生さんや職員さんと、施設のお祭りやボランティアなどを通じて、つながりを作っていけたらと思っています。



▲保土ヶ谷区にある偕恵いわまワークス

かける
×
施設

問合せ

●横浜市社会福祉協議会 企画部企画課 ☎ 201-2090
●保土ヶ谷区社会福祉協議会 ☎ 341-9876



民生委員・児童委員

港南区民生委員児童委員協議会会長の

すぎ やま しず え
杉山 静枝さん に聞きました

「この街に暮らしてよかった」といわれるよう、
地域の方に寄り添う時間を大事にしながら
活動を積み重ねています。

民生委員になったきっかけ

- ▶ 自治会の会長から地区の民生委員をやってもらえないだろうか、と声をかけていただきました。民生委員は地域にとって欠かせない存在です。PTA や読み聞かせボランティアなどをしていたとはいえ、まさか自分がと思いました。主人や子どもも後押ししてくれ、引き受けることになりました。

日々の仕事

- ▶ 訪問や声かけ、地域活動の場を通じた相談などを中心に、地域の方に寄り添う時間を日々積み重ねています。この街に暮らしてよかったといわれるよう、地域の方と話す活動を一番大切にしています。

心がけていること

- ▶ 委員になって間もない頃、ある訪問先のご高齢の方から、「笑顔で話すともっといいよ」と言われ、はっとしました。当時の自分は、委員として頑張らなければ、と力が入りすぎていたかもしれません。それ以来、地域の方が話しやすいよう、誰であっても平等の精神でお付き合いをすること、相手の立場に寄り添い優しく笑顔で接することを心がけています。

喜び、やりがい

- ▶ 港南区の地域には、高齢者の集まり、子どもの遊び場、主婦のおしゃべりの場などが沢山あります。それぞれの活動がつながるといいなと、だれでも来られる世代間交流の場「カレー屋さん」を年4回行ったところ大好評で、多くの方に地域活動を知ってもらった機会となりました。
さらに、誰でも行ける居場所が毎日あれば一人でも寂しい思いをする人がいなくなるからいいのに、と参加した若い方から声があがり、常設の居場所「icocca(いこっか)」の立ち上げ準備に入りました。活動が若い世代につながっていくことがとてもうれしいです。

民生委員になって良かったと思った出来事

- ▶ 地域の方から「なんでも相談できるから、いてくれるだけで安心して暮らしていける」という声をかけていただくことが多くなりました。民生委員として、私の方が幸せをいただいていると感じています。

地域の皆さんへ

- ▶ 地域の全ての皆さんが心に不安を抱えることなく、皆さんと支えあいながら幸せに暮らしていけたら、と願っています。

民生委員・児童委員とは

民生委員法に基づき厚生労働大臣の委嘱を受けた無報酬の非常勤特別職地方公務員(児童福祉法に定める児童委員も兼務)で、全国で約23万人が活躍しています(任期3年・再任可)。

担当地域をもち、日々の暮らしの困りごとに対する身近な相談役・つなぎ役としてのほか、民生委員児童委員協議会を組織して自主的・主体的な活動もしています。

※民生委員・児童委員は、自治会町内会が主体となって結成する地区推薦準備会で候補者を選びます。候補者は、横浜市推薦会の審議を経て、市長を通じて厚生労働大臣に推薦され、委嘱手続きを経て委嘱状が交付されます。

横浜市の民生委員・児童委員

横浜市では、令和元年12月1日時点で4,359名の方が委嘱されています。自治会町内会や地区社協などと連携をしながら、高齢者、障害者、乳幼児の見守り活動やサロンの実施など、地域の幅広い活動に携わっています。

接することの多い人たち



◆ この記事に関するお問合せは ……………
横浜市社会福祉協議会 ● 地域活動部地域福祉課 ☎ 201-8616
● 企画部企画課 ☎ 201-2090

横浜市内の
福祉人材に
関する
求人情報 ⇨



ウェルじゃん
求人情報



横浜市
介護人材情報

「学び」を活かしたボランティア活動 ～たくさんの子どもたちを笑顔に～

総合学園ヒューマンアカデミー横浜校(神奈川区)

平成23年から「横浜サンプラザプロジェクト※1」(以下、プロジェクト)に参加している総合学園ヒューマンアカデミー横浜校※2(以下、学園)の皆さん。専門課程で学んでいることを活かし、ステージでのダンスパフォーマンスや訪問先の障害児施設でヘアメイクをするなどの活動が、子どもたちの笑顔につながっています。

※1 横浜サンプラザプロジェクトについては、ホームページをご覧ください。



ダンスパフォーマンスから広がった 訪問サンプラザ活動

学園では、プロジェクト参加当初からダンスパフォーマンスを披露していましたが、ダンス以外にも「横浜のためになることを行いたい」「もっとできることがあるのでは?」と話しあいました。その結果、ヘアメイクを学んでいる学生が高齢者施設でボランティアを行っていたことから、施設等で子どもたちと交流する『訪問サンプラザ』も始めることになりました。



目指す仕事の先にいる 「お客様」を考える

学園としては、授業で培った技術を実践の場で活用する機会を設け、在学中にたくさん体験してもらいたいと考えています。卒業後に目指す仕事の先には必ず「お客様」がいることや、相手の立場になって、喜んだり、楽しんでいただくにはどうしたらいいのかをボランティア活動を通じて身を持って感じ、考えてもらいたいと思っています。

載せきれないほどの、
たくさんの感想を
いただきました!

子どもたちから 元気ももらいました!

参加した学生の感想

- ★ 昨年仲良くなった女の子が自分の事を覚えてくれていて、今回も一緒に活動できた事が嬉しかった
- ★ フェイスペイントをしたあとの嬉しそうな顔が忘れられない
- ★ 自分も読み聞かせをやってみたいという子が現われ嬉しかった
- ★ 読み聞かせに熱中する子どもの笑顔に、元気ももらえた
- ★ 活動を楽しみにしていたので、喜んでくれる姿がかわいく、私も嬉しかった
- ★ この交流を、なりたい夢のきっかけや第一歩にできたらいいなと思う
- ★ 在学中の参加はこれが最後、でもまたお手伝いがしたい

横浜訓盲院での 「訪問サンプラザ」

平成29年から横浜訓盲院※3へ訪問するようになり、子どもたちとは、メイク、ヘアメイク、フェイスペイント、ネイル、読み聞かせを通じて、とても楽しい時間を過ごしています。

絵本の読み聞かせでは声優を目指し学んでいる学生が、登場人物にあわせて声色を変えながら読んでいて、最後には、子どもたちが学生に読んで聞かせる場面もありました。

顔がキャンバスになったかのように、フェイスペイントをたくさん描いてもらう子が続出しました。

ヘアスプレーを使ったヘアカラーリングが大人気。ブルーやイエローの髪が目を引きまます。

※2 総合学園ヒューマンアカデミー横浜校…専門分野を学び、就職・デビューを目指す学校です。
※3 横浜訓盲院…障害のあるお子さんが入所、短期入所できる施設です。

横浜市ボランティアセンターより

学びを活かしたボランティア活動は、笑顔が広がる素敵な機会となっています。いろいろなボランティアのきっかけを探しに、ボランティアセンターへお気軽にご相談ください。

問合せ

横浜市ボランティアセンター
☎201-8620

ホームページはこちら



各区
ボランティアセンター

ホームページはこちら



実施報告

「第5回 よこはま地域福祉フォーラム
はぐく えん
～育まれる縁～」

1,458名の方に
ご参加いただき
ました

令和2年1月30日(木)に関内ホールにて開催。午前の基調講演ではこどもソーシャルワークセンターの幸重氏から「ひとりぼっちにしないまちづくり」と題して、子どもたちを地域で育み寄り添うために、同じまちの住民としてできることは何かを滋賀県での実践をもとにお話をいただきました。また、午後には暮らしに寄り添う身近なまちの支えあいや、多様なつながりで支えあう地域づくりなど2分科会を行い、先進的な取組の報告を通じ横浜の地域福祉を皆さんと一緒に考える機会となりました。



▲基調講演の様子
(関内ホール 大ホール)

▲基調講演の講師 幸重 忠孝 氏
(こどもソーシャルワークセンター)

【問合せ】横浜市社会福祉協議会 企画部
☎ 201-2090

募集

2020年度
音声訳ボランティア
入門講座受講者!

「福祉よこはま」録音版を作成している横浜音声訳グループ「やまびこ」では、新しいメンバーを募集しています。「福祉よこはま」だけでなく、聴覚に障害のある方のために、様々な音声訳サービスを提供する「やまびこ」の活動に参加してみませんか?

〈日時〉2020年5月13日～7月8日
(毎週水曜日・全9回
10:00～12:00)

〈会場〉横浜市健康福祉総合センター
(中区桜木町1-1)

〈人数〉20名

〈費用〉3,000円(テキスト代含む)

〈応募方法〉

yyamabiko20@gmail.com へ、住所・氏名・年齢・電話番号を明記し、3月20日(金)までに送信してください。

説明会(4月15日(水)13:00～)のご案内をお送りします。

〈問い合わせ〉上記Emailへご連絡ください。

賛助会員のご紹介

ご支援・ご協力ありがとうございました。

令和元年9月15日～令和2年1月20日 新規受付・継続受付分

個人会員 ●坂田 謙太郎 順不同・敬称略

詳しくはホームページをご覧ください▼

【問合せ】横浜市社会福祉協議会
総務部 総務課
☎ 201-2096



みんなのきもち ありがとう

みなさまから寄せられたご寄付は、市内の市民活動団体、障害児・者団体の支援のため、有効に活用させていただきます。



〈よこはまふれあい助成金 助成事業〉 特定非営利活動法人トータルビューティーカンパニー神奈川

～メイクアップでいきいき元気に～ 美容を通じた地域貢献活動

トータルビューティーカンパニー神奈川では、障害のある方や高齢の方などの社会参加を支援するための出張ヘアメイクや各種講座を行っています。美容を通して地域社会との関わりが増え、外出することによって、元気にいきいきと、生きがいを持てるようになっていただきたいと思います。また、美容ボランティア育成講座を修了した方たちが地域で活躍していることも大きな励みになります。これからも地域の皆さまと、一緒に取り組んでいきたいと考えています。



美容ボランティア
育成講座の様子



私たちの活動ではたくさん
のメイク道具が必要ですが、
活動が増え不足するものが
出ていたところ、いただきました助成金
により、揃えることができました。より多くの
福祉施設に伺うことができたり、美容ボラ
ンティアの方々の活動の幅が広がるなど、充実
した活動を行えるようになりました。

今後も地域の方々と共に、高齢の方や障
害のある方の社会参加を支援して参りたい
と思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

横浜市ボランティアセンターでは、寄付のご相談をお受けしています。☎ 201-8620

寄付者のご紹介

ご支援・ご協力ありがとうございました。順不同・敬称略 令和元年10月1日～12月31日受付分

善意銀行 金銭寄付者

- 横浜市社会福祉センター 利用者一同
- ブックオフコーポレーション 株式会社 (3件)
- 山崎 泰則
- 株式会社 悠石
- サニーサイドゴスペルクラブ横浜
- 宗教法人 真如苑
- 中林 央一
- 学校法人 岩崎学園 横浜デジタルアーツ専門学校
- NPO法人 全国美容週間神奈川実行委員会
- 横浜冷凍 株式会社
- 匿名 (4件)

善意銀行 物品寄付者

- 横浜新緑総合病院
- 株式会社 日立物流南関東
- 日立物流「まごころ基金」
- NPO法人 フードバンク横浜
- 堀江 廣史
- 千代田化工建設 株式会社
- 三菱重工業 株式会社
- 三菱重工グループ労働組合連合会 本社・横浜地区本部
- 大和ハウス工業 株式会社 横浜支社
- 神奈川トヨタ商事 株式会社

よこはま あいあい基金寄付者

- 宗教法人 世界平和統一家庭連合 横浜家庭教会 (2件)
- 公益財団法人 神奈川霊園

障害者年記念基金寄付者

- 共に生きるふれあいバザー実行委員会 (2件)
- ふれあいチャリティーバザー実行委員会 (3件)
- アサヒブリック 株式会社 横浜営業所
- 匿名 (3件)

福祉基金寄付者

- 宮田 敏行
- 宗教法人 世界平和統一家庭連合 横浜家庭教会
- 川田 将之
- 瀬上 倫弘
- 田邊 裕子
- 宮田 明典
- 池田 誠司
- 匿名 (4件)

ヨコハマ寄付本寄付者

- 粟飯原 智佳子
- 栄区民一同
- 万里設備 株式会社

- ウィリング横浜利用者一同
- 株式会社 高栄設備工業
- 須藤 敏夫
- 岩田 弘 (2件)
- 株式会社 三上
- セミトBiz新横浜
- 株式会社 ジェイコム湘南・神奈川 横浜テレビ局
- 国際ロータリー第2590地区
横浜磯子ロータリークラブ/横浜市磯子社会福祉協議会
- 遠藤 明子
- KDDI 株式会社
- 損保ジャパン日本興亜 横浜自動車営業部 第二課
- よこはま市民共同オフィス
- 横浜市社会福祉センター利用者一同
- 老人福祉センター ユートピア青葉・もえぎ野地域ケアプラザ
- 横浜市反町地域ケアプラザ (2件)
- 横浜市東永谷地域ケアプラザ (2件)
- 横浜市並木地域ケアプラザ (2件)
- 横浜市旭区社会福祉協議会
- 横浜市西区社会福祉協議会
- 横浜市保土ヶ谷区社会福祉協議会
- 横浜市瀬谷区社会福祉協議会
- 匿名 (20件)

みんなの声



前号の感想

シニアボランティアに登録して3年になります。施設利用者さんや職員の方の「また来て下さい」に支えられて活動しています。
(泉区 H・W)

いろいろなボランティアの形があるんだなと思いました。古本の寄付など、自分にもできそうなことをやってみようと思いました。
(旭区 匿名)

毎回読ませて頂いていますが、福祉関係の仕事に従事する人の熱意が何れ頑張っている様子がうれしいです。自分らしく生きることの大切さ、まわりからの支援、大事な事ですね。小さな心遣いと励ましの言葉は、大きな力になることもあります。たくさんの人と触れ合うこと広げたいです。
(戸塚区 匿名)

今回の特集で寄付に様々な形があることを知りました。たとえばヘッドネーション、言葉は目にしたことがあるものの医療用ウィッグとして形になっていたのですね。そして「見え寄付」の実施には大いに期待しています。「見える」ためには自ら「よく見る」ことが必要です。見ることで、幅広い視点が持てるようになることが、榊原先生のおっしゃる福祉の原点かもしれません。
(南区 R・N)

シニアボランティアポイントという制度を初めて知りました。ボランティアをやるシニアの方々にとってもやればやるだけポイントがたまることはやりがいに繋がるし、いろんな方とも交流出来るのはとても良い事だと感じました。
(保土ケ谷区 匿名)

榊原先生の取材文、とても心に残りました。福祉を学ぶ学生たちが「えらいね」とかけられる言葉の違和感、そして福祉の仕事で「お世話をする」ことだけでなく、その人らしさを手伝えることが大事だ」というメッセージ。今後も自分が何かのボランティアをする時に心にとめておきたい言葉でした。
(都筑区 匿名)

自分にできることを出来る範囲でやりたいです。
(中区 匿名)

地域に関わるさまざまな活動や、福祉に関わる人の声などを拝見しています。また、寄付者のご紹介の欄では、多数の民間企業を含む団体様が、市民活動や、障がい者支援に関心を寄せていることがわかり、今後どのように一般市民の人々の関心が福祉分野へ入っていくかを考えています。
(泉区 岡部 星花)

福よこクイズ

ご応募・ご感想
お待ちしております!

地域作業所わくわくわーく 「カードケース」プレゼント!

銀行カードやポイントカードの
整理に便利!

地域作業所わくわくわーくは神奈川県の反町駅近くにある盲ろう者が多く通う作業所です。一人ひとりが持っている力を発揮し、その人らしく生き生きと作業しています。リサイクルを中心にした、布ぞうりや織り製品、点字用紙を使った製品などを作っています。心を込めて織った色鮮やかなカードケースは、カードが12枚入る人気の織り製品です。



応募方法

はがき・FAX・Eメールにて、右記をご記入のうえお送りください。
抽選で**15名**の方に**プレゼント**を差し上げます。

締め切り：令和2年4月30日(木) 必着

【応募先】

〒231-8482
横浜市中区桜木町1-1
横浜市社協
「福よこクイズ」係
FAX：045-201-8385
Eメール：fukuyoko@yokohamashakyo.jp

【個人情報取扱】

※応募に関わる個人情報については、当選者への発送及び福祉よこはま紙面作成の参考のために利用させていただきます。

【項目】

- 1) Q1~3の答え
- 2) 郵便番号・住所
- 3) 氏名(ふりがな)
- 4) 年齢 5) 電話番号
- 6) 福祉よこはまの入手方法
- 7) 福祉よこはまの感想
- 8) 「みんなの声」次号掲載時の氏名の掲載可否(匿名希望の場合はイニシャルを記載)



- Q1** 特集：保土ケ谷区の○○○○スクエアは中高生の居場所・活動拠点です。(カタカナ4文字)
- Q2** 福祉の仕事：民生委員児童委員の杉山さんは地域の皆さんと○○で接することを心がけています。(漢字2文字)
- Q3** ボラセン情報：総合学園ヒューマンアカデミー横浜校は平成○○年から横浜サンタプロジェクトに参加しています。(数字2文字)

前号194号の福よこクイズの答えは、Q1：寄付 Q2：福祉 Q3：シニア でした。たくさんのご応募ありがとうございました。

編集後記

地域の中に様々な居場所や活動拠点がありますが、来る人もあり方も様々です。その対象や役割をほんの少し広げるだけで、新たなつながりが生まれ支えあいが広がる大きな可能性を持っています。いつもある場を違う目線で見れば、支えあいの輪を広げるきっかけが生まれるかもしれません。

次号▶No.196 令和2年6月 発行予定

発行：社会福祉法人 横浜社会福祉協議会
〒231-8482 横浜市中区桜木町1-1
☎045-201-2090 FAX: 045-201-8385
Eメール：fukuyoko@yokohamashakyo.jp
URL：http://www.yokohamashakyo.jp

デザイン：株式会社 オールスタッフ

「福祉よこはま」は、共同募金配分金の一部を活用して発行しています。

広告

例えば

アナタも身近な「見守りの担い手」に!

- ☆ご近所のお茶会などで契約トラブルの情報交換
- ☆消費者被害にあって困っていたら消費生活センターを案内

高齢者に多い消費者トラブル

- ①無料点検からの強引なリフォーム工事勧誘
- ②偽のウイルスセキュリティソフト
- ③インターネット接続回線の電話勧誘

横浜市消費生活総合センター

消費生活相談電話 **TEL.845-6666**
FAX.845-7720



駅近！ 便利な貸会議室のご案内

目的や立地に応じて使い分けられる2施設
福祉・保健関係者を対象とした施設ですが、一般の方もご利用いただけます

福祉保健研修交流センター ウィリング横浜 多様な貸会議室をご用意しています

上大岡駅
徒歩3分

4～240名まで収容可能な研修室、実習室、和室など30室を備えています。打ち合わせ、研修、式典と幅広い用途での利用ができます。ぜひご活用ください。 ※有料・要事前予約



研修室の
レイアウト、付帯設備の
設営は当施設にて
行います



車いす、介護ベッドなどを
備えた介護実習室

詳しいご利用についてのお問合せは

福祉保健研修交流センター ウィリング横浜
TEL: 847-6666 FAX: 345-0799
〒233-0002 港南区上大岡西1-6-1
ゆめおおおかオフィスタワー内
開館時間: 9:00～21:00
休館日: 年末年始、設備点検日

ウィリング横浜

横浜市社会福祉センター ホール・会議室を使ってみませんか？

桜木町駅
徒歩2分

ホールや会議室などの貸出を行っています。会議室は最大108名まで、ホールは306名まで収容可能。平日は夜9時までご利用いただけます。ぜひご活用ください。 ※有料・要事前予約



みなとみらい地区が
一望できる会議室も
あります



ホールは、研修会や
講演会などの会場として
人気です

詳しいご利用についてのお問合せは

横浜市社会福祉センター
TEL: 201-2060 FAX: 201-6116
〒231-8482 中区桜木町1-1 横浜市健康福祉総合センター内
開館時間: 平日9:00～21:00 (土日祝日は17:00まで)
休館日: 毎月最終月曜日、
年末年始、設備点検日

横浜市社会福祉センター

指定管理者: 社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

平成31年度

ボランティア活動保険

全国200万人
加入!!

保険金額

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	1,400万円	
	後遺障害保険金		1,040万円 (限度額)	1,400万円 (限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	10,000円	
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円	100,000円
		外来の手術		32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円	
	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の 各補償金額(保険金額)に同じ			
賠償責任	葬祭費用保険金 (特定感染症)		300万円(限度額)		
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		

年間保険料(1名あたり)

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		350円	510円
天災タイプ(※) (基本タイプ+地震・噴火・津波)		500円	710円

団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増引適用

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事
保険会社〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00～17:00(土日・祝日、12/31～1/3を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
営業時間: 平日の9:30～17:30(12/29～1/3を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。